

東吾妻町議会だより

第50号

みんなの議会

2018.8.1



今号の内容

- 6月定例会で決まったこと…………… 2
- 一般質問 町に聞いてみました… 8
- 各委員会からの活動報告…………… 18
- まちの声…………… 20

夏が来た! (7月13日/岩島小学校)

6月定例会で決まったこと

会期：6月5日～14日（10日間）

6月定例会に提出された議案など

●町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙、町長提出議案26件（人事関係10件、報告1件、条例7件、平成30年度補正予算3件、その他5件）

※採決の結果などについては、5ページの「議案などの審議結果」をご覧ください。

平成30年第2回定例会が6月5日から14日まで開催され、町長から提案された人事案件や補正予算、条例などの議案が審議されました。なお、町政一般質問では10名の議員が町政をただしました（8から17ページをご参照ください）。

また、議員補欠選挙により当選した高橋徳樹議員が加わったことにより、開会直後に議席の指定および変更が行われました。それに先立ち、4月20日の議員懇談会においては、浦野議長が文教厚生常任委員会、行財政改革推進

特別委員会、地方創生調査特別委員会を高橋議員の所属委員会に指定しました。

平成30年度一般会計補正予算が可決されました

歳入歳出にそれぞれ1845万円を追加し、総額をそれぞれ82億4747万円としました。

質疑

議員 道の駅管理事業（200万円）と桔梗館管理費（100万円）として高齢者優待券取扱委託料の補正を計上してある

が、ここでいう高齢者が70歳以上である根拠は。地域政策課長 根拠はないが、高齢の方を対象にということと70歳にした。

議員 「広報ひがしあがつま」6月号に両施設に無料で入れる券が付いている。その予算をいま審議しているのだから、その前に無料券を配るのはいかがなものか。

地域政策課長 両施設の回数券のための予算は既設されている。

議員 この予算が通った場合、この予算からの事業費という解釈でいいか。

地域政策課長 認めていただいた場合、70歳以上の無料優待券の精算についてはこれで行っていきたい。

議員 6月の広報に添付されている券については、今回の事業費とは関係ないという解釈でいいか。

地域政策課長 事業としては6月から始め、つなぎの部分については既設

平成30年度 補正予算一覧

会 計 名	補 正 額	予算総額
一般会計（第2号）	1845万円	82億4747万円
国民健康保険特別会計	事業勘定	64万円
	施設勘定	-55万円
介護保険特別会計	194万円	16億7385万円

一般会計補正予算一覧（主なもの）

会 計 名	補 正 額
工事請負費追加	1500万円

の予算を使い、70歳以上の無料優待券の精算事務につなげていきたい。

議員 広報は1世帯に1冊配付される。世帯によつては1人世帯、10人もいる世帯もある。中には70歳以上の人が1人いる世帯もあれば、3人

上いる世帯もある。その場合、2人は入る権利があるけれども、1人は入る権利も与えられないという手法である。こういった手法は、行政はやるべきではないと思うが。

地域政策課長 手渡しや郵送、券を配る労力などを考慮して、今回は広報への刷り込みとした。

議員 不公平さが感じられるので、例えば温泉入浴回数限定。パスポートなどを発行して、多少経費がかかろうとも行政がやるなら、そのくらいのことをしなければならぬと思うが。

地域政策課長 両施設の指定管理者と協議し、広報への刷り込みか別の方法が検討していきたい。

議員 町所有の日帰り温泉以外についても、補助することによって町が活性化すると思うが、そういうことも検討していただけないか。

地域政策課長 それにつ

いてはこれからの協議とということになる。

議員 例えば70歳以上が3人いる世帯から1枚足りないとこの連絡が入ったら、対応してもらえないか。

地域政策課長 配付したものの以降の発行は考えていない。

町長 この方法で進めながら、改善できる点は改善していきたい。

**町選挙管理委員会
員および補充員の選
挙が行われました**

東吾妻町選挙管理委員会の委員（4人）と補充員（4人）が任期満了となるため、議長による指名推薦の方法で選挙が行われました。

選挙の結果は次のとおりで、任期は6月8日から2022年6月7日までの4年間です。

●委員

- 佐藤 弘さん(五町田)
- 塚田 茂さん(原町)

小池勝良さん(松谷) 黒岩 進さん(大戸)

- 補充員
- ①茂木信也さん(植栗)
- ②片貝徳行さん(矢倉)
- ③町田博史さん(原町)
- ④浅見美彦さん(奥田)

※番号は補充順序

**人権擁護委員候補者
を推薦しました**

人権擁護委員5名のうち1名が9月30日をもって任期満了になるため、前橋地方法務局長から後任候補の推薦依頼があり、轟馨さん(須賀尾)を推薦することが適任と認めました。

任期は2021年9月30日までの3年間です。

監査委員を選任しました



角田隆紀さん

監査委員の任期満了に伴い、引き続き角田隆紀さん(五町田)を選任することに同意しました。

任期は2022年6月30日までの4年間です。

教育委員会教育長および委員を任命しました

任期満了に伴い、引き続き小林靖能さん(大戸)を教育長に任命することに同意しました。任期は6月21日から2021年6月20日までの3年間です。また、教育委員会委員1名の任期満了に伴い、新たに富澤渉さん(新巻)を委員に任命することに同意しました。

任期は6月21日から2022年6月20日までの4年間です。



富澤 渉さん

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意しました

任期満了に伴い、引き続き3名の委員が固定資産評価審査委員会委員に選任同意されました。

任期は7月1日から2021年6月30日までの3年間です。

●山崎孝利さん (6期目 郷原)

●佐藤 勉さん (4期目 新巻)

●飯塚 理さん (6期目 高崎市)

公平委員を選任しました

公平委員3名の任期満了に伴い、引き続き高橋豊さん(岩下)と朝比奈浄真さん(大柏木)、新たに唐澤忠雄さん(五町田)を選任することに同意しました。

任期は7月1日から2022年6月30日までの4年間です。

●いわびつ体験農園使用料

区画番号	面積	使用料(年)
畑(1～43番)	約55㎡	2,500円
畑(44番)	約750㎡	9,000円
田(45番)	約470㎡	8,000円
田(46番)	約430㎡	8,000円
田(47番)	約390㎡	8,000円

金婚夫婦等慶祝条例が制定されました

結婚後50年・60年・70年を迎えた夫婦を祝福し高齢者の福祉を増進するため、慶祝を希望する夫婦からの申し出に基づいて対象者を決め、記念品を授与します。

いわびつ体験農園の使用料などが変更されました

条例が改正され、いわびつ体験農園の区画や使用料などが変更されました

費用などが変更となりました。

質疑

議員 直営から指定管理に変更したが、3年後そのまま継続するのではなく、管理料などを含め直しをすると理解しているか。

農林課長 3年間の指定管理を予定しているが、3年後に業者と協議を行い見直しを検討させていただきます。

議員 業者の事業計画に沿って事業がきちっとできているかどうか、1年ごとに確認していくのではないか。

農林課長 事業計画や実績などについて報告いただくことになっているので、年度の終わりあたりにチェックし指導を行います。

いわびつ体験農園の指定管理者を決定しました

●指定管理者：(株)フオレスト(神奈川県足柄下郡湯河原町) 代表取締役 石田浩二

●指定期間：7月1日から2021年3月31日までの2年9カ月間

■物品購入契約の締結

消防ポンプ自動車の購入(第2分団第1部)で、納期は12月までの予定。
●契約金額：2646万円

●契約相手：(株)佐藤工業所 代表取締役 伊藤英明(前橋市)

質疑

議員 今回の指名は温井自動車(株)、(株)佐藤工業所、(株)モリタの3社だが消防車のメーカーはどこか。

総務課長 モリタである。
議員 違法でないか信じているが、代理店の中にメーカーが入っている。過去5年を調べたら小型ポンプとポンプ車ですみ

平成30年度に繰り越すことが決まった事業

事業名	金額
庁舎建設事業	6億5315万円
次期総合計画策定事業	376万円
吾妻溪谷活性化対策事業	400万円
保育所施設整備事業	4億8436万円
地籍調査事業	4223万円
住宅新築改修等補助金交付事業	317万円
道路改良事業(町道馬場・相原線)	700万円
道路改良事業(町道長寿園線)	680万円
道路改良事業(町道鳩ノ湯線)	876万円
道路改良事業(上信自動車道関連)	1400万円
橋梁補修事業	4804万円
町内遺跡出土鉄製品保存処理業務委託事業	320万円
公共土木施設補助災害復旧事業	1720万円

分けられているので、疑問を持たれないためにも業者を精査し、3社だけでなくも可能ななど検討してほしいが。

総務課長 全国には消防車メーカーが何社かあるが、関東近辺ではモリタが1社で県内の状況もほとんどがモリタである。

町の入札資格業者の届け出もこの3社なので、指名もこの3社だった。指名のあり方について、審査会で検討していただきたいと思う。

●物品購入契約の締結
新基準消防団活動服(333人分)を購入し、団員に貸与するもの。

議案などの審議結果

第2回 臨時会（平成30年4月4日）

議案名	議員名														議決日				
	出席者数	賛成	反対	議決結果	1 浦野 政衛	2 里見 武男	3 小林 光一	4 重野 能之	5 竹淵 博行	6 佐藤 聡一	7 根津 光儀	8 樹下 啓示	9 山田 信行	10 茂木 恒二		11 金澤 敏	12 青柳 はるみ	13 須崎 幸一	14
専決処分承認（東吾妻町税条例の一部を改正する条例）	13	12	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4/4
専決処分承認（東吾妻町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	13	12	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4/4
平成30年度東吾妻町一般会計補正予算（第1号）	13	12	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4/4
工事請負契約の締結（（仮称）原町保育所新築工事 建築工事）	13	12	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4/4
工事請負契約の締結（（仮称）原町保育所新築工事 機械設備工事）	13	12	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4/4

第2回 定例会（平成30年6月5日～14日）

議案名	議員名														議決日				
	出席者数	賛成	反対	議決結果	1 浦野 政衛	2 高橋 徳樹	3 里見 武男	4 小林 光一	5 重野 能之	6 竹淵 博行	7 佐藤 聡一	8 根津 光儀	9 樹下 啓示	10 山田 信行		11 茂木 恒二	12 金澤 敏	13 青柳 はるみ	14 須崎 幸一
人権擁護委員候補者の推薦	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/5
東吾妻町監査委員の選任	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/5
東吾妻町教育委員会教育長の任命	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/5
東吾妻町教育委員会委員の任命	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/5
東吾妻町固定資産評価審査委員会委員の選任	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/5
東吾妻町固定資産評価審査委員会委員の選任	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/5
東吾妻町固定資産評価審査委員会委員の選任	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/5
東吾妻町公平委員会委員の選任	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/5
東吾妻町公平委員会委員の選任	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/5
東吾妻町公平委員会委員の選任	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/5
東吾妻町特別職の職員で非常勤のもの及び各種委員会の委員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/13
東吾妻町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/13
東吾妻町金婚夫婦等慶祝条例訂正の件	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/13
東吾妻町金婚夫婦等慶祝条例	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/13
東吾妻町税条例等の一部を改正する条例	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/13
東吾妻町いわびつ体験農園設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	14	12	1	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	6/13
東吾妻町スポーツ振興審議会条例の一部を改正する条例	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/13
東吾妻町貸スキー使用料条例を廃止する条例	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/13
平成30年度東吾妻町一般会計補正予算（第2号）	14	12	1	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	6/13
平成30年度東吾妻町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/13
平成30年度東吾妻町介護保険特別会計補正予算（第1号）	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/13
物品購入契約の締結（消防ポンプ自動車購入）	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/13
物品購入契約の締結（新基準消防団活動服購入）	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/13
東吾妻町地球温暖化対策実行計画	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/13
東吾妻町いわびつ体験農園の指定管理者の指定	14	12	1	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	6/13
工事請負契約の変更締結	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/13
町道5247号線ほかの改良の請願 ※委員会の採択に対し	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/13

可…可決、否…否決、○…賛成、×…反対、欠…欠席、／…退席 ※議長（1番）は採決に加わらないため「-」で表示

● 契約金額：777万6000円
 ● 契約相手：温井自動車工業（株） 代表取締役 温井勲雄（高崎市）

■ 工事請負契約の変更締結
 5-40号橋（寺澤橋）の補修工事で、契約金額を変更するもの。
 ● 変更後の金額：520万2800円

● 契約相手：池原工業（株） 代表取締役 池原純（東吾妻町）

■ 町地球温暖化対策実行計画を策定しました
 東吾妻町のすべての事務事業及び出先機関、指定管理者制度で外部委託している施設を対象に、東吾妻町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）を策定しました。

質疑
 議員 2022年に10.7%減、2030年に37.5%減というのがありますが、これは国全体の目標で、

町の計画はどうなっているのか。また、旧東中学校を民間に貸しているが、そこが対象施設一覧表の中に含まれていないのはなぜか。

副町長 国の目標もそうだが、町もその目標に向けて職員和省エネ行動の取り組み事例などを取り入れながら、その目標に向かって削減をしていく計画である。

町民課長 旧東中学校に關しては町の管理下ではないため、今回の計画には入れていない。

その他決まったこと

■東吾妻町特別職の職員で非常勤のもの及び各種委員会の委員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

■東吾妻町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例

の一部を改正する条例
 ■東吾妻町税条例等の一部を改正する条例
 ■東吾妻町スポーツ振興

審議会条例の一部を改正する条例
 ■東吾妻町貸スキー使用料条例を廃止する条例

平成30年第2回臨時会（30年4月4日）で決まったこと

一般会計補正予算の第1号は歳入歳出それぞれ101万円を追加し、総額をそれぞれ82億2901万円としました。

その他決まったこと

■工事請負契約の締結
 (仮称)原町保育所新築
 工事の建築工事で、工期は11月30日まで。

●契約金額：3億5964万円

●契約相手：池原工業(株) 代表取締役 池原純 (東吾妻町)

■工事請負契約の締結
 (仮称)原町保育所新築
 工事の機械設備工事で、

工期は11月30日まで。

●契約金額：7506万円
 ●契約相手：富沢設備(株) 代表取締役 富澤通之(東吾妻町)

■専決処分
 の承認(東吾妻町税条例の一部を改正する条例)

■専決処分の承認(東吾妻町国民健康保険条例の一部を改正する条例)

平成30年度 補正予算一覧

会計名	補正額	予算総額
一般会計(第1号)	101万円	82億2901万円

「請願」「陳情」

のしかた

◎請願・陳情とは

町政に対する皆さんの意見や要望を「請願」「陳情」として受け付けています。東吾妻町議会議員の紹介があるものを請願といい、紹介のないものを陳情といいます。

◎請願・陳情の書き方と提出方法

・受付締切日

定例会前に開かれる議会運営委員会の前日(土・日・祝日の場合は、その前日の午後5時15分まで)

・提出先：議会事務局

・必要記載事項

請願(陳情)の表題、請願(陳情)の趣旨、理由、提出年月日、請願(陳情)者の郵便番号、住所、電話番号、氏名、印

なお、請願の場合は、紹介議員の署名(または記名押印)

あて先(東吾妻町議会議長)

・その他：邦文で記載してください。

皆さんからの請願

請願	採択	町道5247号線ほかの改良の請願（内容：町道5247号線及び5242号線約200メートルの安全対策を含む改良を要望するもの）	古谷区長 山口松雄 紹介議員 根津光儀	総務建設常任委員会
----	----	--	------------------------	-----------

あの請願・陳情はどうなったか？

採択した請願・陳情の処理状況が報告されました。

内 容	処 理 状 況	
町道3005号線（本宿上の原）舗装工事のお願い	平成21年6月採択	処理中
坂上地区のバス運行に関する陳情	平成22年12月採択	処理中
町道程岩・堂ヶ沢線改修工事を求める陳情	平成22年12月採択	処理中
町道1281号（程岩）線改良工事を求める陳情	平成22年12月採択	処理中
請願書 公衆用道路の拡幅改良について（大戸下宿区長）	平成23年6月採択	処理中
陳情書 町道鳩の湯線の拡幅改良について	平成23年6月採択	処理中
「農山漁村活性化プロジェクト支援交付金（農林水産省）」事業等導入促進に関する請願書	平成25年3月採択	処理中
地元小規模零細商業者への東吾妻町公共施設の発注拡大に関する陳情	平成25年9月採択	処理中
陳情書（坂上地区からガソリンスタンドを無くさないために早急に対策を）（大戸診療所友の会）	平成25年12月採択	処理中
陳情書（坂上地区にガソリンスタンドを確保するため、事業者の確保と支援を）（坂上地区区長会長会）	平成25年12月採択	処理中
陳情書 町道新井・横谷・松谷線（厚田～三島間）の拡幅改良工事	平成26年3月採択	処理中
陳情書 公衆用道路の拡幅改良について（大戸上宿区長）	平成26年6月採択	未決
陳情書 町道5267号線の道路改良拡幅工事（辻区長）	平成26年9月採択	未決
萩生地区活性化拠点 観光案内看板・休憩所設置に関する陳情（萩生地区活性化推進委員会）	平成26年12月採択	処理中
十二ヶ原第二畜産団地の排水について【請願】（植栗区長）	平成27年3月採択	未決
町道長寿園線の改良工事に関する陳情書（関谷区長）	平成27年3月採択	処理中
橋梁の架け替えと町道拡幅に関する陳情（漆貝戸区長）	平成27年9月採択	未決
東吾妻町弓道場の新設に関する陳情書	平成27年9月採択	未決
安心して住み続けられる坂上地区づくりに関する陳情（トイレ・GS・直売所）	平成27年12月採択	未決
町道5085号線拡幅改良工事に関する陳情書（在下・上野区長）	平成27年12月採択	処理中
上信自動車道の開通に伴う発展政策提言の陳情書	平成27年12月採択	未決
硬式テニスコートへの改修に関する陳情書	平成28年3月採択	完結（平成30年3月完成、4月から供用開始）
町立中学校の運営についてのアンケート調査実施に関する陳情書	平成28年3月採択	未決
町道新井・横谷・松谷線拡幅のお願い	平成28年9月採択	未決
東吾妻町健康増進センター「であいの館」移設に関する陳情書	平成29年6月採択	処理中

未決…どのような方法で行うか決定されていない

処理中…着手し進行中

問 質 一 般

町に聞いてみました

このコーナーでの質疑応答は編集してあります。本会議中の正確なやり取りについては、町ホームページの会議録（9月中旬に掲載予定）をご覧ください。

Q

地域包括ケアシステムの構築と住民主体の活動について

A

支援を行いながら町民と共同の町づくりを進めていく



青柳はるみ議員

Q 住民主体の活動に支援を。

A 第2次総合計画には「住み慣れた地域で生涯尊厳を持ち暮らす」



クルミや青柿で草木染め（地域振興センター）

とあり、それには地域包括ケアシステムの深化と

ある。どんな人にも『できることを』『できること』「できるだけ」地域に出てもらい、健康寿命を

延ばすための社会参加の機会を進めていくことが重要と考える。

Q 公民館や地域振興センター・集会所では

住民が趣味を通じて生き生きと活動されている。草木染や地元産物を使った料理など得意な分野の方々がその日の講師となり、参加者を広げている。

今後6次産業化に向けて商品開発できる要素もある。各地域拠点では住民主体で活動し、グループごとに代表者がいる。こ

れは人材育成にもなっているのではないかと。こうした活動には当然、機材

などの整備も必要と考える。住民主体の活動を資金的に支援することで、より良い環境整備がさら

なる活動分野を広げることにつながる。これは地域包括ケアシステムの重要な

自助、共助、公助であり、まさに第2協議体の模範となるものと思うが。

A 社会参加を続ける手段として特技や趣味を生かすことは大変重要

と考える。健康寿命延伸のために趣味を持ち、仲間と過ごす時間を共有すること、場の確保は重要な要素と考え取り組んでいく。

ヘルプマークの導入を

Q 東京オリンピックピック・パラリンピックに向け、外国人にも分かりやすい案内記号に「ヘルプマーク」が追加された。

妊婦さんや見た目ではわからない内部障がいの方への配慮と誰でも安心な社会を作っていくための1つの手段だ。オリンピックまでにはできることをやっていくべきだ。

A 援助や配慮を必要としている方が周囲の方に知らせることで、援助を得やすくなるため役立つものと認識している。導入に向け、協議検討していく。

Q 誇りを持って生きていく力を公民館に求める

A 中央公民館の建て替えも視野に取り組んでいく

Q 町の公民館は5つ設置されているが、各館によって機能や活動に大きな違いがある。互いに補い合い、機能と活動を整合性のある形にすべきであると考えているが。

A 社会教育法第20条には次のように定められている。「一定区域内の住民のために、実的生活中に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする」。この規定に沿って

て各地区ごとに合計5つある公民館は、それぞれの実情や伝統を踏まえ文化祭や体育行事を行っている。

Q 公民館に序列があつて、中央公民館は上位館として位置づけられているのか。

A そのようなことはない。立地上のこととして、お年寄りを対象にした「寿大学」や乳児を対象にした「ブックスタート」事業を行い、備品の貸し出しなども行っている。

Q 東公民館の活動は活発であり、特殊性もあるようだが。

A 大字単位に分館を5つ持ち、その統合館

としての機能を果たしている。幼児から高齢者までを対象にした活動や組織的な学習の場が提供されており、小学生の自然体験・社会体験などの機会が設けられている。

Q 中央公民館は築42年が経ち老朽化している。各公民館ともスロープや多機能トイレがないなどバリアフリー化が遅れており、高齢者には使いがたいが。

A 中央公民館は耐震診断において補強が必要とされた。原町地区の公共用地・施設全体を見ながら、東吾妻町の社会教育活動の拠点として使いやすい施設整備をして行く。



根津光儀議員

Q 各館の図書はホールなどのフリースペースに置かれており、照明や閲覧時のプライバシーが確保されていない。施設整備の際は図書館の機能を持たせるべきと考えるが。

A 図書室として充実させるべきとは思いますが、図書館の併設までは考えない。



ロビーを利用した中央公民館の図書スペース

Q バイオマススタウン構想についての考えは

A 循環型社会の形成に役立つと考える

Q 東吾妻町では、平成21年にバイオマスタウン構想を策定。バイオマススタウン構想での考え方

方に沿った間伐材など、林地残材などの取り組みは進んでいるのか。

A 平成29年度の状況は、林地残材3万3025トンが木質チップ燃料となり、再生可能エネルギーとして利用されている。除伐や間伐などで切り捨てられていた木材がカタチを変え、エネルギーに変わることにより、循環型社会の形成に役立つ。産地災害も起こりにくい森林になることと考える。

町の文化施設の活用について

Q 文化施設の1つ、東支所地内のあづま農村環境改善センター内に展示されている著名な漫画家、富永一朗先生の漫画廊については、

先生の貴重な原画、単行本の管理運営、来場者への対応など適正に行われているのか。

A 富永一朗あづま漫画廊については、来場者があった場合は東支所で対応している。寄贈された原画などは、展示ケースなどに納め大切に保管・展示している。

Q 過日改めて画廊に行き驚いた。画廊に行くくと無造作に来客者名簿が置いてあり、表紙には東村企画観光課と書いてある。大変恥ずかしいことと思うし、担当課として東支所の職員もその存在さえも知らない。まして、あづま農村環境改善センターの使用名簿にも

東村役場と書いてある。また、原画には紫外線が平然と当たっており、展示ケースの中の水も入れ替えていない。このさまざまな現状をなぜ職員は気付かないのか、不思議である。町長は知るべきだと思う。これからのように管理、案内するかも含め早急に対応すべきと思うが。

A 歴史的なものと考えて、原画の紫外線対策、案内表示など十分に対応する。

Q これをきっかけに、既存施設の管理運営を見直す必要があると思うが。

A これを機会に、よく見直してまいりたい。



吾妻バイオパワー発電施設全景



竹 瀨 博 行 議 員



山田 信行 議員

Q 団塊の世代がすべて75歳以上になる2025年問題に向けての取り組みは

A 地域資源の掘り起こしと課題の抽
出で介護保険事業計画に反映

Q 新しい介護予防・日常生活支援事業の概要と、これまでの介護予防事業との違いについて伺う。

A 会福祉協議会、民生委員をはじめ多様な支援者・NPO、地域ボランティアなどの連携が重要であると考えるが。

A 職種の共同体制推進とケアマネジメント支援の充実を図ることが求められている。具体的な取り組みは。

A 1次予防・2次予防を区別せずに、地域の実情に応じて効果的・効率的な介護予防を推進する事業である。

A ケア会議を定期的に開催し、協議体の活動を推進している。メンバーとしては委員指摘の方々ははじめ、区の役員など多様な方面の方々に協力をいただいている。

A 今年度、自立支援型ケアマネジメントモデル市町村として、9月から利用者の自立に向けたサービスを展開できるように活動を開始する。

Q 地域包括ケアシステムにおける地域的取組については、医療と看護、介護の連携以外に社

Q 地域ケア会議の効果的な実施による、他

Q 高齢者が地域ボランティア活動をするとともに介護予防にもつながる。ボランティア活動をを行った場合、自治体がポイントを与え、それで商品との交換や換金、介護保険の支払いに当てることなどができる制度がある。自治

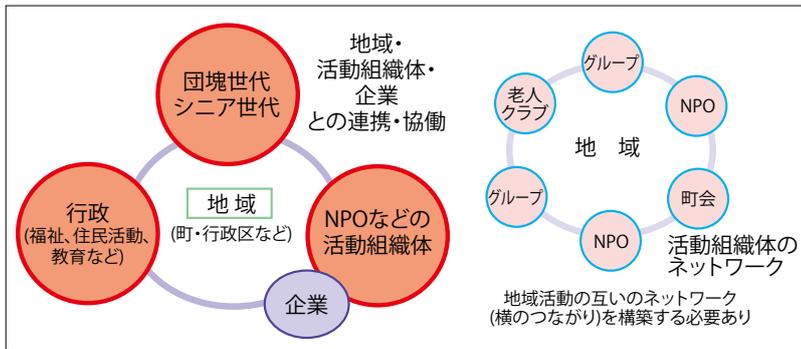
体としては保険料の軽減に利用できる。財源は自治体の裁量にもよるが、地域支援事業交付金の活用も考えるべき。

は地域の集会所など考えられるが、集会所に遠い方の場合は町の建物などや空き家や空き店舗の活用などを検討すべき。

Q 地域コミュニティの活性化のために二層協議体交流については多世代の交流の仕組み作りが重要と考える。交流拠点の開設を巡って

A 地区協議体でも向こう三軒両隣のお茶飲みからという意見も出されている。今後5地区のそれぞれの特性に鑑み検討していく。

生活支援サービス体制整備第2層
町内5カ所に協議体が開設



町民と行政との協働による取り組みが効果大。シニア世代に地域や社会の課題解決で活躍してもらうためには、行政側もシニア世代と共に努力をし、作り上げていくことが必要。シニア世代の豊かな知識や経験は行政にとっても大切な宝。



行政改革・財政改革について 現状の認識は



職員数と人件費を削減してきた。 職員の能力向上が急務

参考：町民アンケート（平成 29 年実施）

	満足	不満
行政の効率化と健全な財政運営について	0.8%	11.6%
行政職員の資質向上	1.6%	14.3%
行政手続や情報発信の電子化	1.0%	5.9%



茂木恒二議員

Q 平成18年の合併以降行政改革を推進してきたが、現状をどのように認識しているのか。行政改革推進プランに基づき組織を統

廃合し、職員数と人件費の削減に努めてきた。
Q 行政はサービス業である。アンケートでは町民のほとんどが満足していない結果となっているが。

A アンケートの結果に止め、職員の公務員としての意識改革と、専門的知識・技能をもったエキスパート職員養成を目指した人事管理を行っている。

Q 職員適正化計画では平成34年目標数201名となっているが、10年後、20年後の目標数はあるのか。

A 第2次定員適正化計画は中期的な計画であり、長期目標の設定はしていない。人口減少、機械化・AI化が進展した場合は、職員数適正化につながるかと考えている。
Q 財政について現状をどのように認識しているのか。

参考：県内同一人口規模団体の比較

	人口 (H30/4)	職員数 (H29/4)	起債残高 (普通会計 28年)	一般会計当初予算 (H30)
甘楽町	13,208人	115名	52億7,000万円	48億4,000万円
板倉町	14,750人	145名	38億8,000万円	65億4,000万円
東吾妻町	14,046人	194名	102億3,000万円	82億2,000万円

減のための具体策は。
A 要因は臨時財政対策債の増加である。合併当時より22億円増加している。残高総額の約7割が交付税措置される。残り3割の約46億円が実質的な町債残高と考えている。

Q 町債の繰上償還についての考えは。
A 繰上償還の実施には補償金の支払いが発生する。財政調整基金などの取り崩しは、健全化比率の悪化も懸念され現在は予定していない。

Q 平成30年度一般会計当初予算は82億200万円である。行政規模からすると過大ではないのか。
A 臨時的事業が予算化されている。当町の財政規模を考えると80億円弱の予算規模が望ましい。臨時的事業の合計を差し引くと7億6800万円となり、適正な予算規模となっている。

A 当町は税込の大幅な増加は見込めない。一般財源の確保は厳しい状況だが、財政健全化比率は着実に改善しており、今後も健全化を進めていく。
Q 町債残高（29年末一般会計と特別会計の合計）は153億6425万円と巨額である。削減



須崎幸一議員

Q 誇りを持って暮らす町づくりのために何をするのか

A 実施計画書を作成し、さまざまな施策に取り組みたい

Q 他に例を見ない「外観が城づくり」の役場本庁舎が建設中で、来年1月より供用開始予定である。ぜひ町のシンボルとして広く町内外に周知して、多くの来訪者に来てもらい、さまざまに分野での展示や催しを行い、町の良さを認識していただき、知名度を上げることはできないか。また、最上階の活用方法はどうのように考えているか。

A 城郭風の役場庁舎は青森県の田舎館村いなかたてむらの他には全国に例がないので、話題になり地域活性化につながる効果があると思う。最上階については、今まで同様に町民に開放する展望ホールとして利用を考えている。

Q 第2次総合計画における実施計画書を今年度で作成する中で、第1次総合計画の実施計画書を踏襲しての作成になると思うが、新たに考えているものは何か。

A 基本計画に設定した重点施策の進捗状況の「見える化」を検討し、町民への情報公開やPDCAサイクル手法のツールに用いていきたい。

Q 現在、観光大使として当町出身者の方や在住の方を含めて4名が任命されているが、この町に住んでいる人を対象とした各分野別に任命して、多くの人にこの町のPR大使として活躍してもらったことはできないか。

A 東吾妻町に在住し、多くの方々にこの町のPRをしていただける方がいれば、農業・文化・芸能・スポーツなどの部



増改築工事が進む、城郭風の役場庁舎（12月完成予定）

門を問わず観光大使に就任し、東吾妻町を全国にPRしていただきたい。

Q まち・ひと・しごと総合戦略の事業における東吾妻教育システム開発プロジェクト事業は、

どのように調査研究を進めていくのか。

A 町総合戦略本部の中で今後方向性を検討し、各課横断的にチームを編成しながら研究を進めていく予定である。

Q 地域振興センターは消防署や保健所から認可されない施設か

A 相手機関と行き違いがあり進まない



金澤 敏 議員

Q 地域振興センターに
関し、27・28年度の
「東吾妻町における施策
の実績」からはどのよう
な地域振興が行われたの
かが分からない。特に第
1条の「町民のコミュニ
ティ環境の整備及び若者
の定住促進のため」の点
検・評価はどうなってい
るのか。

A 環境整備が終わり、
本格稼働の後に点
検・評価をしていく。

Q 当初宿泊施設として
いたが、消防法や公
衆衛生などで宿泊できな
い。このままでは制定の
目的である「若者の定住
促進のため」が遂行でき
ないが、条例制定時の説
明では消防法も保健所関

係の問題もクリアでき
るとのことだった。議会
に対して虚偽の答弁で判
断を誤らせた疑いが強い
が。

A 消防署や保健所の見
解と行き違いがあり
進まない。高齢者なども
利用しやすい施設とする
ため検討しているが、費
用対効果についても考え
なければならぬ。

Q 区長会で元の校庭を
駐車場にするとの説
明。それでは地域振興セ
ンターの運営に支障が生
ずる。なぜ、今7000
平方メートルもある駐車
場整備が必要なのか説明
を求めぬ。

A 体育施設として利用
のない旧校庭である
ことから、普通財産に移
行させる。その後、貸し
出すか貸し出さないかは
今後の課題である。

Q 他の市町村の地域振
興センターは、地域
まるごとの魅力を発信す
るセンターとして機能さ

せている。基本にあるの
は、地域振興のため地域
に人材を呼び込むことを
目的とし、人材育成ネッ
トワークの情報や地域の
物づくりをしている企業
ガイド、各種助成金や奨
励金の利用方法、ハロー
ワークとのコラボなどで
ある。就農情報を発信し
ている自治体も多くある。

A このままでは趣味のグ
ループ活動のために新た
な公民館を設置したに過
ぎない。町長の目指す地
域振興センターの姿は。
さまざまの方が、さ
まざまな能力を発揮
し、目的のとおり地域振
興に資する活動の場とな
るのが望ましい。



7000平方メートルの駐車場に



里見武男議員

Q 公営住宅の総合的な見直しや整備、再編は

A 再編・集約を行う準備を進めていく

Q 東吾妻町第2次総合計画のなかでは住環境の整備が基本目標にあるが、現在12団地のうち10団地が昭和40年から50年代に建てられ、耐用年数が経過している。公営住宅の総合的な見直しを含め整備、再編の事業内容や、実施時期を明らかにできないか。

A 12団地の町営住宅157戸のうち、5団地78戸が借地に建設されており、構造別では木造が24棟、簡易耐火が23棟、中層耐火が2棟で、耐用年数以内の住宅はこの中層耐火の42戸。町有地に建設されている住宅については屋根替えを行うな

ど長寿命化を図り、借地の住宅は最小限の整備にとどめ、再編を行うための準備を進めていく。時期については未定であるが、岩島地区では旧岩島第1小跡地に集約を考えている。その後、原町、太田地区においても借地の住宅は撤去し、再編・集約を進めていく。

吾妻ふるさと大橋からバイパスへは

Q 上信自動車道の開通が2025年度の予定となっているが、開通のおりには、国道145号原町バイパスの通過車両が大幅に減ることが予想されている。バイパスには多くの商業施設があり、施設の撤収など死活問題となることが予想されている。川戸・原町インターから吾妻ふるさと大橋を通り、原町バイパスへは一直線で行けるような道路整備が必要と思う。この構想については



吾妻ふるさと大橋よりJR群馬原町駅を臨む

A さまざま問題が山積しており、JR及び地権者の協力が得られ、整備水準を低めに見たと陳情で採択した案件でもあり、JR群馬原町駅舎の移動などで大金がかかると言われているが、長期的でも根気強く諦めずJRとの交渉を行うべきと思うが。

しても10億円以上の費用が想定される。参考にこの案件をコンサルに委託した場合の受託費用についても聞いたところ、「JR協議に何年要するかも想定できない案件であり、受託費用だけでなく受託を辞退したい」との回答であった。

Q これからの町政方針は

A 子育て支援や産業振興など重点施策を中心に進めていく



佐藤 聡一 議員

Q 子育て支援や若い世代の移住・定住を今後どのように進めるのか。

A 国の動向を見ながら保育料の完全無料化に取り組み。また、本年4月から制度を創設した定住促進事業住宅取得奨励補助金は人口の流出防止、定住人口増加の観点から効果は大きいものがある。今後も制度の紹介を広くすると共に予算確保を行いたい。

Q 森林・林業の再生・活性化により、町の新たな基幹産業を生み出し、雇用の拡大を図るには何をするのか。また、農業振興については。

A 木材の流通、特に運賃に対する補助など

が行えるか検討して地元企業などに対し補助などを行うことで、利用の促進・林業の活性化が図られればと考える。人材育成・担い手の確保では、「自伐型主林業」の説明会などで、新たに林業の職に就いたり、また会社が参入することで雇用の拡大につながると思う。農業振興では、機械導入などの補助金について、認定新規就農者、認定農業者には上乘せを行っている。また3月29日にスプレー・マム産地協議会が設立され、9月にスプレー・マム農業体験が開催されることになった。このような取組により農業の振興につながればと考えている。

Q 来年からスタートする新庁舎での総合窓口化についてどう進めていくのか。

A 総合戦略本部の行革推進部会を中心に、その準備を進めている。



4月から認定こども園としてスタートした「はらまちこども園」

Q 幼稚園から中学校までの一貫した教育シ

스템開発プロジェクトの東吾妻町学びのベ

Q 持続可能な公共交通ネットワークの再構築についての考え方は。

A シックとは。幼稚園・小学校・中学校で生活し学びを保障する形の一つとして考え、具体化したものである。

Q

高齢者への詐欺犯罪を防ぐさらなる対策を

A

地域総ぐるみでの被害防止対策を推進していく



重野能之議員

Q 今日では若い子どもや女性、また高齢者が犠牲となる犯罪が後を絶たない。人々の命と暮らしを守る政治の最大の使命が問われている。去る5月7日には、新潟市で下校途中の女子児童が連れ去られ命が奪われる卑劣な事件が発生している。当町では登下校時におけるボランティアの方々、教職員、警察官の日ごろの活動によって大きな事件は発生していない。しかし、油断はできない。安全対策の現状と課題は。

A 新潟市の事件については、私としても犯人に対し怒りを禁じ得ない。この事件を受けて、管内の学校などに児童・生徒の登下校時の安全確保について改めて周知し、徹底を図った。現在は保護者・ボランティアの付き添いのほか、沿道の事業者や住民の方々にもご協力いただき、見守り体制の整備を図っている。できるだけ児童・生徒を1人にしないという観点で、今後さらに必要と考えている。

Q 最近では防犯カメラやドライブレコーダーの役割が大きい。当町の公用車にドライブレコーダーの搭載を提案するが、

A 重要な提案として、今後検討していきたい。

Q 平成29年度の本県児童虐待相談件数は9年連続で増加し、最多の1140件であった。この現状と町内の状況について、どのように考えているか。

A 町では児童福祉法に基づき要保護児童対策地域協議会・実務者会議を毎月定期的に開催している。虐待事案などの要保護ケースや要支援ケースがあり、現在も継続的な支援を行っている。高齢者の方々を狙った詐欺事件も依然として横行している。悪質

な犯罪から人々を守らなければならぬ。さらなる対策が必要と考えるが、群馬県内の平成29年度は4億2350万円と無線での注意喚起、民生委員との連携によって、地域総ぐるみでの被害防止対策を推進していく。



群馬県警ホームページより

各委員会からの活動報告

文教厚生常任委員会

定例会中の6月6日の委員会では、町民課からは新たに策定される地球温暖化対策実行計画の説明があり、今年度の削減目標や各課の取り組みについて質疑応答が行われました。

保健福祉課では、今定例会に上程した「金婚夫婦等慶祝条例」の第3条について、義務規定ではないかとして全委員から修正を求める声が上がりました。その後行われた町長への事務調査において、金婚夫婦等慶祝条例



はらまちこども園の視察

第3条への対応を求めました。町長からは、修正した形で対処するとの回答がありました。

7日の教育課では、増築後のはらまちこども園を視察した後に質疑に入り、こども園のおやつや安全性の確保の問題などが出されたほか、給食費無料化を他市町村へ通っている当町の子どもへも補助すべきとの意見や、保育所の遊具の追加などの意見が出されました。

議会運営委員会

5月25日に開催された議会運営委員会において、



議会報告会（昨年11月）



高校生議会（昨年11月）

平成30年度の議会報告会・高校生議会・中学生議会について協議いたしました。

まず、議会報告会については、協議の中で一昨年度までのような土曜日・日曜日の昼間の開催

や昨年度のような連続した5日間の夜間開催の場合の体力的負担の問題、ローテーションの問題などについても意見が交わされ、土・日曜日の昼間開催でも参加者数に大幅な変化が見られないこと、連続した5日間の夜間開催でも体力的な負担はないこと、ローテーション



中学生議会（昨年11月）

を変えても参加者に影響が少ないことなど、意見が集約されました。その結果、11月5日（月）から9日（金）にかけ、夜7時から町内5会場で行うこととなりました。

高校生議会・中学生議会については、今期定例会終了後に吾妻中央高校・東吾妻中学校を議長・議会運営委員長、議事事務局長の3名で訪問して、まず相手方のお考えも伺ってきてから、その意向も踏まえて、改めて議会運営委員会で協議をさせていただき、ことと決定いたしました。

各委員会からの活動報告

行財政改革推進 特別委員会

6月8日、委員会の開
会後に庁舎建設の現地視
察を行いました。現在は
施設内が取り壊されてい
る状態のため、図面での
説明を受け、短時間で視
察・調査を終了しました。
委員会再開後、企画課か
らの説明の「開かれた役
所」としての総合窓口化
に関して質疑応答の結果、
各委員は未だ具体的なイ
メージを持ってないのが実
情です。31年1月から新
庁舎で業務は開始されま
すが、最大の目的である

総合窓口・コンシエル
ジュについては1月から
ではなく4月からの対応
とのことです。

行財政改革では第2次
総合計画に関して、町民
アンケートの結果、現状
の行政と町民認識との乖
離について厳しい意見が
出されました。総務課よ
り庁舎建設のスケジュー
ルは順調だが工事費に関
しては多少の変更増加に
なる可能性が示されました。

八ッ場ダム及び地域 開発事業対策特別委 員会

6月4日、道の駅八ッ
場ふるさと館において、

東吾妻町及び長野原町の
それぞれの議会のダム特
委員、各関係者と懇談会
を行いました。吾妻峡周
辺整備全体周遊計画案を
もとに、国交省が施行す
る2橋と遊歩道全体の安
全性を向上させたり、樹
木の枝打ちなどを行い、
吾妻川の景色がより遊歩



長野原町で行われた懇談会

道から見えるようにする
ことで観光客の入り込み
を増やし、両町の地域振
興に貢献できるよう、基
金事業利用や国交省に対
し今後共同して陳情して
いくことになりました。
6月定例会においては、
国・県・町より八ッ場ダ
ム関連の進捗状況の報告
があり、その中で町より
渓谷内の駐車場整備や大
柏木プラントヤード跡地
利用について、ダム完成
までに土地の問題が解決
できそうにないため、基
金事業費をJR廃線敷利
用に付け替えるとの報告
がありました。

地方創生調査 特別委員会

アクションプラン36事
業についての検証、進捗
状況、本年の到達するべ
きことを確認しました。
人口増対策については、
まず町を知ってもらうこ
とに重点が置かれていま
す。「小さな旅」のTV放
映もあり、町を訪れる人
の問い合わせが多いが、
群馬原町駅の有人化によ
り対応でき、観光拠点と
したことが生きている状
況です。

また、現実の問題とし
て、町内出身だが町外に
家を作ったという人の理
由を調査することで、こ
こから町の課題も見える
のではないかと検証を求
めました。若者向け住宅
補助が4軒使われたとい
う実績があったが、若者
アパートや町営住宅につ
いて計画が進むよう要請
しました。



庁舎建設の現地視察

まちの声

東吾妻町の農業の未来は……？

加邊 真哉さん

(坂上地区・農民)

大柏木のまだまだ未熟な(笑)百姓です。

父が存命のうちに就農、後継しとけば良かったと思いつつ、はや11年。半端な職歴を重ねながら、やりようでは農業もかなり愉しめるはずと、ずっと考え続けて至る現在。想定以上の(笑)苦労や疲労の連続ながら、いろんな可能性が見えたり、努力の成果も時々(笑)現れたり、多様な能力が磨かれるので、後悔は少ししか(笑)ありません。

相手は大自然と動植物たち。失敗すると来年まで再挑戦できないことも少なくなく、私が呑気な挑戦で遊べる人生の残り時間は、たぶん少ないです。なので、余分な努力もして頑張ってるつもりですが、希望と夢の大きさに比べ成果が少ないもので、町への貢献度は恥ずかしながら、特に税制上(笑)、すごく低くて……。甚だ、恐縮ではあります。

東吾妻町のほとんどは、日本中のどこにでもあるような(笑)中山間地です。このような環境での暮らしは、ずっと、野良仕事や山仕事で支えられてきました。山林や田畑が荒れ、中山間地ならではの産業が廃れば、そこに暮らす価値、意味、理由が激

減するのは必定です。もはや、最低限の維持や荒廃の抑止を、必死で考えなければならない時代かもしれません。皆様、頑張りましょう。

私には農業の将来を担う力はありません。なので、せいぜい自分のために、飽きるまで(笑)、面白可笑しく踏ん張り続け、ひとまず野菜の達人になって、もっと楽しい、さらに美味しい野菜作り、百姓人生を追究、満喫し続けたいと思います。その上で後世に遺せるようなものが築ければ、さらに面白いのだけど。良い成果が出たら、できるだけ多くの人にお裾分けしたいと思うのだけど。さて?!

ちなみに今年は、インゲンなどを出荷しながら、アーティチョーク、フェネル、バジルなどに続いて、初めて、チコリやパクチーなどにも挑戦しています。



議会を傍聴してみませんか！

議会の会議は、特別な場合を除き公開されています。傍聴希望の方は、役場3階の議会事務局までお越しください。

次回の定例会は9月4日開会予定

9月定例会予定表

日	月	火	水	木	金	土
2	3	4 本会議	5 本会議	6 常委	7 常委	8
9	10 特委	11 特委 全協	12	13 本会議	14 本会議	15

※予定ですので、詳しくはお問い合わせください。
常委：常任委員会、特委：特別委員会、全協：議員全員協議会

今、急速にこの国の言葉が劣化しているのではないかと感じてなりません。言葉そのものの誠実感や信頼感が希薄となり、掴みどころのない言語空間が広がっています。政治もメディアもそして市井の人々に至るまで無責任な言葉を発するのを散見いたします。社会は言語で成り立っているのにもかかわらず、閑話休題。

議会議を行うところでは編
例年なら梅雨本番中に編
委員 須崎 幸一
委員 青柳 はるみ
委員 金澤 敏
委員 茂木 恒二
委員 里見 武男
副委員長 重野 能之
委員長 根津 光儀

が、今年は6月中に梅雨明けとなりました。これから猛暑が長く続くと思うとゾッとします。どうぞ、みなさまにおかれましては御身体ご自愛ください。
(金澤 敏)

編
集
後
記